

「いのち」の教育実践事例

生命の継承の
大切さに
関する教育

☆庄内町立立川中学校の実践☆

一 夢を抱き、志を貫く人々の歴史と風土を受け継ぐ一

庄内町の立川地域は、認定こども園「からふる」・立川小学校・立川中学校が隣接していることから、子ども達に関わる情報交換、交流学习など連携しやすい環境にあります。そこで発達段階における「育みたい力」を園・小・中それぞれが明らかにし、多岐にわたる教育の視点で職員が学び合う場を設け、日々行われる教育活動の目的を全員が共通理解し、心にとめ、実践できる環境作りに努めました。また、学校運営協議会をはじめ地域へも活動を発信し、地域の願いを組み入れた教育活動が行えるように支援体制を創り上げ、「みんなで地域の子どもの力を育む」教育の実施を可能としました。本校では、総合学習の場で、地域の支援を受けながら、仲間と議論し、地域に暮らす一人として、自分の生き方、在り方、未来を考え提案します。

○ 幼保・小・中連携の実践

「15年の連携で地域の子どもの力を育む」

育みたい力を明らかにし、職員全員参加の連携推進会議で今年度の重点を定め、手立て、取組みを協議する。

学校運営協議会で、取組みを報告し、「地域で育みたい子どもの資質」を協議2023年学校だより4号・5号で地域にも発信



合同授業研究会を小・中隔年で実施し、成果と課題を明らかにする。連携企画会議Ⅱを開き、次年度に向けて方向性確認。

○ 立川中学校の取り組み例

① 「ふるさとを自分達の手で（総合学習）」

【大テーマ】「持続可能な庄内町立川地区を目指して」

《学年テーマ》 1年「立川を知る」2年「他地区に学ぶ」
3年「提案、私たちのまちづくり」

1年時、小学校で学習してきたことをもとに3年間を見通した「ふるさとづくり」のテーマを設け、2年時、先行地区の取り組みに学び、比較しながら大テーマに迫るアイデアを考える。3年時には、アイデア実現に向け、手立てを練り上げると共に、町づくりに向けて実際に提案を行う。

② 「リーダーシップ・フォロワーシップの育成」

小規模校の良さを生かし、運動会、合唱コンクールの行事において、学年を2つに分け、縦割り組織による活動を通し、計画を立て組織を目標に導くリーダーシップと、建設的な提言を行いながら組織に貢献するフォロワーシップの育成に努める。

一堂に会し、「手立て」「取り組み」を話し合う。



学校運営協議会で、地域の願いを伺う。



地域おこし協力隊の方々から、庄内町の魅力を学び、現地でフィールドワーク。



今年度、3年生の声に、富樫町長が耳を傾けて下さいました。



「運動会集会」・「合唱頑張ろ～会」

